

記者発表資料（資料配布）				
発表日	担当課名	電話	発表者名（担当者）	その他配布先
9月16日（火）	病院局経営課	078-362-3301	経営課長 市川 裕造 （経営班長 近藤 昭広）	阪神南、東播磨、中播磨、西播磨、丹波、淡路 各県民局（県民センター）

令和6年度 兵庫県病院事業の経営状況について

1 経営状況（13病院）

令和6年度の経常収益は、前年度まで交付されていた新型コロナウイルス感染症にかかる病床確保料がなくなったものの、患者数の増加や診療単価の向上によって入院収益、外来収益ともに増加したことなどから、令和5年度に比べ60億円増加した。

一方、経常費用は、人事委員会勧告に基づく給与改定等による給与費の増加、物価高騰に伴う材料費や経費の増加により、経常収益の伸びを上回る98億円の増加となった。これらの結果、経常損失は令和5年度から38億円増加の128億円となり、純損失は133億円となった。

昨今の急激な賃金や物価の上昇に、十分な対応が出来ていない現行の診療報酬水準の下、費用の増加を賄うだけの収益が確保できず、厳しい経営状況が続いている。

【決算状況（13病院）】

（単位：百万円）

区 分		令和5年度	令和6年度	前年度比較	
				増減	割合（%）
経常収益	入院収益	92,746	97,659	4,913	105.3
	外来収益	39,809	41,352	1,543	103.9
	その他医業収益	2,737	3,007	270	109.9
	医業収益 計	135,292	142,018	6,726	105.0
	一般会計繰入金	16,264	16,637	373	102.3
	その他収益	11,546	10,484	△ 1,062	90.8
	うち病床確保料	1,140	0	△ 1,140	0.0
	合 計 ①	163,101	169,140	6,039	103.7
経常費用	給 与 費	81,211	87,530	6,319	107.8
	材 料 費	47,885	49,710	1,825	103.8
	経 費	27,641	29,325	1,684	106.1
	その他医業費用	13,081	13,079	△ 2	100.0
	医業費用 計	169,818	179,644	9,826	105.8
	その他費用	2,373	2,345	△ 28	98.8
	合 計 ②	172,191	181,988	9,797	105.7
経常損益 ③（①－②）		△ 9,090	△ 12,849	△ 3,759	—
特別利益 ④		274	98	△ 176	35.8
特別損失 ⑤		602	532	△ 70	88.4
当期純損益⑥（③＋④－⑤）		△ 9,417	△ 13,283	△ 3,866	—

※ 計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。以下の表についても同様。

（単位：百万円）

区 分		尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こころ	こども	がん	粒子線		10病院計	指定管理			計
											たつの	神戸陽子		災害	リハ中	リハ西	
R5 決算	経常損益	△1,315	△1,028	△1,134	△2,407	△870	△454	△179	△87	△279	△919	△418	△9,090	0 (△25)	0 (41)	0 (△17)	△9,090 (△1)
	純 損 益	△1,537	△827	△1,190	△2,453	△1,008	△486	△202	△93	△284	△919	△418	△9,417	0 (△25)	0 (41)	0 (△17)	△9,417 (△1)
R6 決算	経常損益	△2,196	△1,784	△1,495	△1,992	△1,271	△796	△351	△1,609	△285	△671	△400	△12,849	0 (△42)	0 (△19)	0 (△24)	△12,849 (△85)
	純 損 益	△2,188	△1,830	△1,494	△2,389	△1,280	△800	△350	△1,610	△286	△656	△400	△13,283	0 (△42)	0 (△19)	0 (△24)	△13,283 (△85)

※ （ ） 書きは指定管理病院の決算を記載

【業務量(13病院)】

区 分		単位	令和5年度	令和6年度	前年度比較
入院	病床数(年度末)	床	4,394	4,394	0
	病床利用率	%	78.6	81.2	2.6
	延患者数	人	1,263,463	1,301,939	38,476
	1日当たり患者数	人/日	3,452	3,567	115
	平均在院日数	日	12.8	12.5	△ 0.3
	入院単価	円	78,538	80,040	1,502
外来	延患者数	人	1,744,458	1,778,308	33,850
	1日当たり患者数	人/日	7,179	7,318	139
	外来単価	円	23,609	24,029	420

2 資本的収支の決算状況

(単位：百万円)

区 分		令和5年度	令和6年度	前年増減	主な増減理由
収入	企業債	10,731	15,350	4,619	西宮総合医療センター（仮称）整備事業、電子カルテ更新整備に伴う増
	負担金	6,990	7,641	651	一般会計負担金の増
	その他収入	1,040	1,034	△ 6	看護師修学資金貸付金返還収入等の減
	合 計	18,761	24,024	5,263	
支出	建設改良費	12,478	16,374	3,896	西宮総合医療センター（仮称）整備事業+837(6,469→7,306) がんセンター建替整備事業+77(371→448) 医療機器整備事業+2,926(5,078→8,004)
	企業債償還金	11,546	12,481	935	はりま姫路総合医療センター医療機器償還開始に伴う増
	その他支出	115	114	△ 1	粒子線治療貸付金等の減
	合 計	24,139	28,969	4,830	
差 引		△ 5,377	△ 4,945	432	

3 累積欠損金、内部留保資金等

令和6年度末の累積欠損金は、当期純損益が133億円の赤字となったことから629億円となり、334億円の債務超過となった。

また、内部留保資金は79億円のマイナスとなった。

(単位：百万円)

区 分	令和5年度	令和6年度
当期純損益	△ 9,417	△ 13,283
累積欠損金	△ 49,571	△ 62,854
資本合計	△ 20,356	△ 33,437
内部留保資金残高	3,348	△ 7,914

※ 金額は損益計算書ベース（税抜き）で作成

4 令和7年度取組について

次期診療報酬改定（令和8年度）に向け、国等に対して物価や賃金の急激な上昇に対応する十分な診療報酬の確保等を要望していくとともに、令和6年度に設置した外部有識者からなる「県立病院経営対策委員会」での議論を踏まえ決定した収支改善策に、各病院と病院局が一丸となって取り組み、持続可能な経営の確保に努める。